

腎臓障害の検査・治療で 新規の透析患者を減らしたい

効果の高い、慢性腎臓病(CKD)の治療に力を注ぐ。

当院腎臓内科では、①ナトリウム、カリウム、カルシウム、リンなどの水・電解質異常、②蛋白尿(尿の泡立ち)や血尿(コーラ様の濃い尿)を呈するネフローゼ症候群や糸球体腎炎の診断と治療、また③高血圧や糖尿病、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病が原因で発症する慢性腎臓病(CKD)の治療などを主にしています。また最近では、糖尿病透析患者さんの血糖コントロールにも力を注いでいます。インスリン自己分泌が保たれている患者さんに対してはインスリンに加えてDPP-4阻害薬の併用投与によりインスリンを減量し、よりシンプルな治療で良好な血糖コントロールをして

生命予後の改善に努めております。また、当院腎臓内科では「地域連携パス」を作成し、専門的治療が必要とされるCKD患者さんを、かかりつけ医の先生方に早期に発見していただき、腎臓病専門医につないでいくことを目指しています。その後の通常診療(経過観察、血液検査、投薬治療など)はかかりつけ医の先生にやっていただき、当院ではCTやエコーの検査をするなど、かかり



地域連携パス

つけ医と専門医が連携し、情報交換をすることによって、より効率的で効果の高いCKD治療を続けていきたいと考えています。この地域から新規の透析患者さんを減らすためにも、先生方のご協力が欠かせません。



内科 医員 矢島 隆宏

【専門分野】腎臓疾患
【認定資格】日本内科学会：専門医、日本腎臓学会：専門医、日本透析学会：専門医
【所属学会】日本内科学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本感染症学会、日本リウマチ学会、日本血液内科学会、日本血栓止血学会

慢性腎臓病(CKD)とは

CKDは、腎臓の働きが健康な人の60%以下に低下する、またはたんぱく尿が出るといった、腎臓の異常が続く状態を言います。

講演会のお知らせ

第98回 すこやかネットワーク 第17回 市民公開講座

【日時】2015年3月18日(水)19:00~
【場所】松波総合病院 南館 1階講堂
【テーマ】「チームで取り組む脳卒中リハビリテーション」
【講師】岩砂病院・岩砂マタニティ
リハビリテーション科部長
日本リハビリテーション医学会
中部・東海地方会幹事
森 憲司先生



外来診療のご案内

ノースウイング(北館) ●初診の方は紹介状をご持参ください。

■眼科 ■泌尿器科 ■健診科 ■リウマチ科 ■産婦人科 ■放射線科
■脳神経外科 ■神経内科 ■耳鼻咽喉科 ■リハビリテーション科 ■整形外科

紹介状をお持ちの方 ■内科 ■循環器内科 ■小児科

●時間外診療はノースウイング(北館)にお越しください。

まつなみ健康増進クリニック

■外科 ■呼吸器内科 ■腎臓内科 ■皮膚科 ■呼吸器外科 ■血液内科
■大腸肛門科 ■形成外科 ■心臓血管外科

紹介状をお持ちではない方 ■内科 ■循環器内科 ■小児科



さらに充実! 地域に根ざした透析医療

糖尿病患者数の増加や高齢化によって人工透析の需要が高まると予想されるなか、透析ベッド数の増床、最新機器の導入などでベストの環境を整えることができました。「頼れる泌尿器科」を目指す現場から、ホットなメッセージをお届けします。

増床・最新機器、
そして専門職チーム

泌尿器科
血液浄化センター
人工透析センター

泌尿器科 | Urology

当院の泌尿器科について。

泌尿器科的疾患は、癌、前立腺肥大症を含めた排尿障害・尿失禁、尿路結石症、感染症、腎不全、性機能、男性不妊症、外傷等多岐にわたります。当院の泌尿器科では、3年前に副腎・腎疾患に対する腹腔鏡下手術、前立腺癌に対するロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を導入しました。従来の開腹手術と比較して、より低侵襲で入院期間の短い腹腔鏡下手術を地域の皆さまに提供することが可能となり、近隣地域からの手術依頼も増えていきます。また男性不妊外来も開設しており、無精子症に対する手術は岐阜県内では当科が唯一で、当院の女性不妊外来、近隣の産科医院と協力して診療しております。

北館の開設に合わせて透析室の移設も行いました。透析ベッド数の増床、機器の更新も行い、さらに安全かつ快適な透析医療が可能となりました。当院の泌尿器科では標準的な診療を行うことは当然ですが、より有益な最新の情報提供、低侵襲な治療を心がけ、地域の皆さまにとって、「頼れる泌尿器科」を目指しています。

泌尿器科部長 萩原 徳康

【専門分野】感染、アンドロロジー、内視鏡、腫瘍
【認定資格】日本泌尿器科学会：指導医、専門医
日本泌尿器内視鏡学会：
泌尿器腹腔鏡技術認定医
日本がん治療認定医機構：がん治療認定医
da Vinci 支援手術教育プログラム修了
【所属学会】日本泌尿器科学会、
日本アンドロロジー学会、
日本泌尿器内視鏡学会、
日本癌治療学会





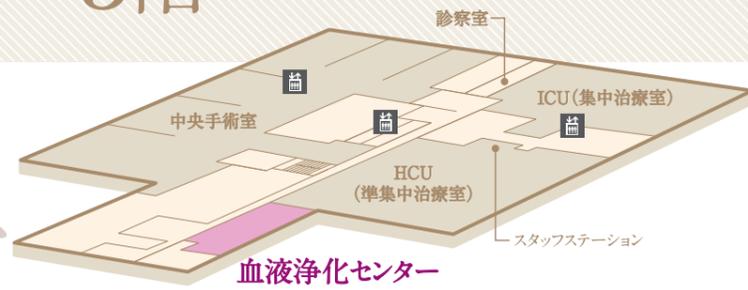
ノースウイング

北館

急性期に対応する血液浄化センター。

昨年11月より南館1階に移転した透析センターは、病床数45床で稼働しましたが、維持透析、入院透析患者数の増加に対応し、現在60床の受け入れが可能です。厳重な透析液管理のもと、オンラインHDFでの透析が可能で、長期透析に伴う合併症の発現を極力少なくするために、貢献しています。

3階



血液浄化センター

北館の血液浄化センターは7床が稼働しており、急性期の入院患者様に対し、人工透析のほかに、血漿交換、エンドトキシン吸着、血漿成分除去、二重濾過、腹水濾過濃縮など、急性期の血液浄化に対応し、治療を行っています。透析担当医は泌尿器科の3名と腎臓内科医2名(内非常勤医1名)で、これからも、地域に根ざした医療のため、努力してまいります。

血液浄化センター・はせがわ ながひこ 人工透析センター長 長谷川 義和

- 【専門分野】 尿路、生殖器腫瘍・尿路感染症・腎不全(透析療法)
- 【認定資格】 医学博士、日本泌尿器科学会:指導医・専門医
- 【所属学会】 日本泌尿器科学会、日本透析医学会、日本化学療法学会

急性期から慢性期まで安全かつ快適な透析医療を地域の皆さまに。



専門職チームの連携により、手厚い医療を提供。

看護師



透析患者様の大切な足を守るために足病変の予防、早期発見を目的としたフットケアを行っています。

透析センター看護師長 脇坂 志保



透析センターの役割として、質の良い透析治療が出来るよう臨床工学技士とともに力を合わせて努力しています。

透析看護師 寺澤 智加

臨床工学技士



日々透析患者様が利用する透析関連装置の保守管理はもとより、透析用水・透析液水質管理に力を入れ、通常のHDの他に、オンラインHDF20床、I-HDF全床で対応可能として、患者様にあった治療モードの提供に努めています。

臨床工学科部長 足立 光生

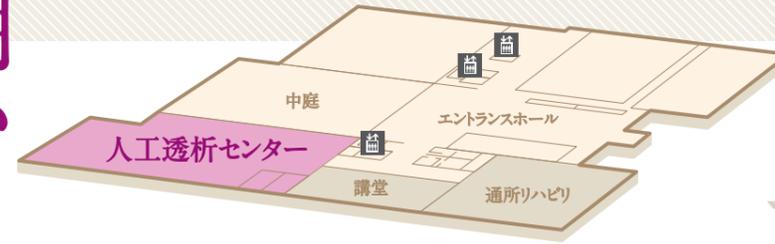
管理栄養士



透析患者様の栄養に関わるご相談は随時受け付けております。透析センタースタッフまでお気軽にお声かけください。

栄養科主任 丸藻 朋子

1階



今回透析センターが移設されました。

透析技術の向上に伴い透析患者様の寿命が延びました。高齢者の増加に伴い、新たに透析を受ける高齢透析患者様も増えています。そのため、透析コンソールを増やし対応しています。

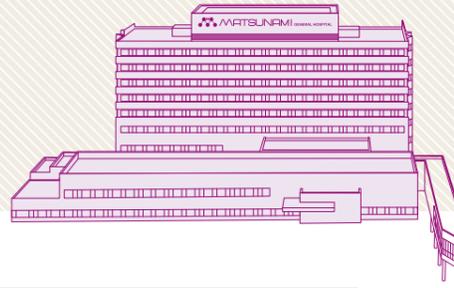
高齢透析患者様は様々な合併症を持っています。透析中の血圧低下、貧血、栄養不足など様々です。こうした患者様に対応できるよう、オンラインHDFが受けられるようになってきました。このオンラインHDFとは、透析液を補充液に使用するものです。

オンラインHDFとは

HDFとは血液透析にろ過を加えた治療法です。オンラインHDFは透析液をそのまま補液として使用するため、ろ過するために足される補液量が多く、より多くの老廃物を取り除くことができます。

はせがわ ながひこ 泌尿器腎臓科部長 濱本 幸浩

- 【専門分野】 血液浄化、腹膜透析、前立腺疾患、神経因性膀胱
- 【認定資格】 日本泌尿器科学会:専門医、指導医日本透析学会:専門医、指導医日本内科学会:認定内科医
- 【所属学会】 日本泌尿器科学会、日本透析学会、日本内科学会、日本腎臓病学会、日本循環器病学会



サウスウイング

南館



人工透析センター

そのため透析液の厳密な水質管理が必要で、細菌を測定感度以下になるまで清浄化させます。当院では、透析液を作る段階から清浄化してあり、安心して透析が受けられるようになっています。

